

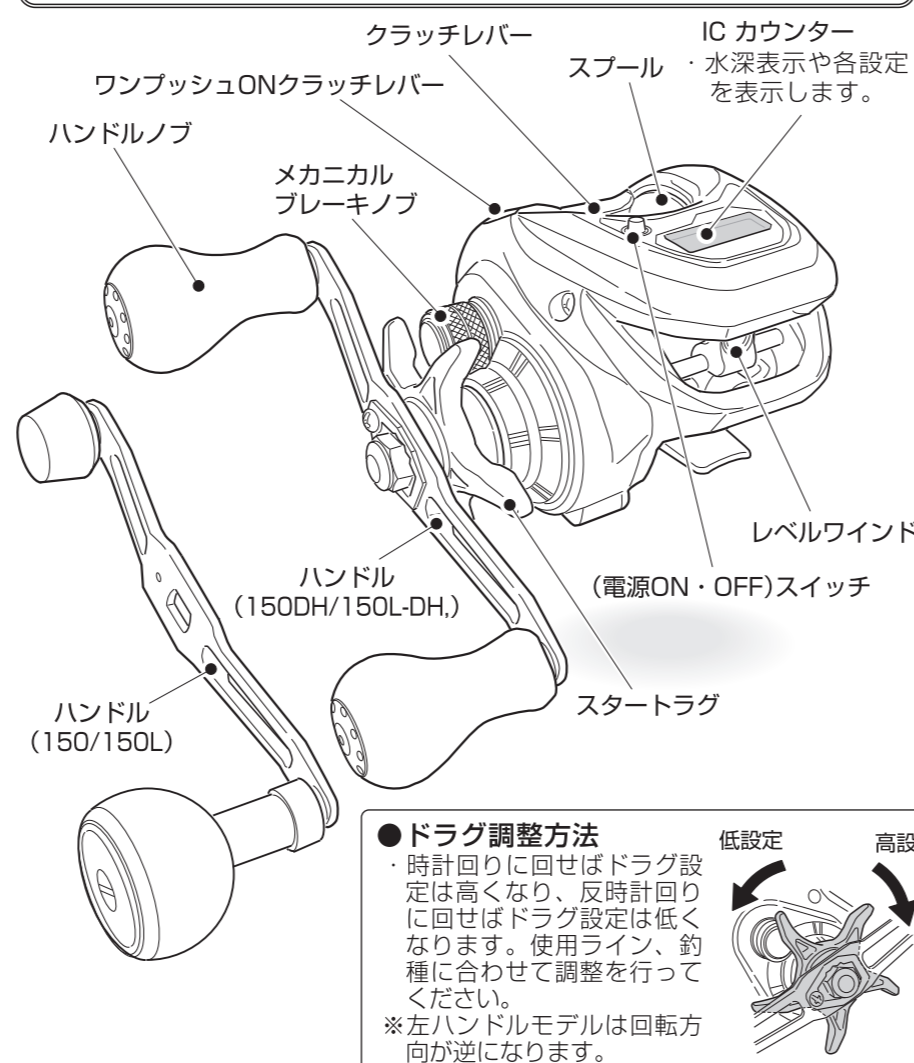


LIGHT GAME X IC 150DH/L-DH,150/150L

取扱説明書

●各部の名称と操作方法

この度は、LIGHT GAME X IC シリーズ をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。このリールを正しくご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様この取扱説明書も大切に保管していただきますよう、お願い申し上げます。



●ドラグ調整方法

・時計回りに回せばドラグ設定は高くなり、反時計回りに回せばドラグ設定は低くなります。使用ライン、釣種に合わせて調整を行ってください。
※左ハンドルモデルは回転方向が逆になります。

●IC カウンターご使用上の注意

- ①水中に浸すなど無理なご使用はおやめください。
- ②性能上、真冬(カウンター表面温度-10℃以下)および真夏(カウンター表面温度60℃以上)の際には液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- ③偏光グラス使用時、性能上、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- ④電源 ON の時、静電気などの影響により、一瞬液晶表示の一部が点灯することがありますが、故障ではありません。安心してお使いください。

IC カウンターが正常な場合でも、使い込んでいくうちにカウンター誤差が生じてきたときには、道糸が伸びていることが考えられます。その際にはお手数ですが再び道糸入力をやりなおしてください。

●展開図 & 部品表

ダイワトップページ www.daiwa.com/jp/

【パーツ情報 確認方法】
パーツ情報については弊社HPよりご確認ください

サポート ↓ パーツ検索システム

カテゴリ ↓ 該当するリールをお選びください

展開図 (PDF) または WEB 展開図へ

●アフターサービスについて
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます
TEL 0120-506-204
【受付時間】9:00~17:00 (土・日・祝祭日は除く)
ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます
www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

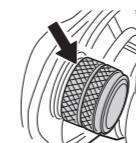
Printed in China

●メカニカルブレーキノブ操作方法

メカニカルブレーキは、クラッチOFFで仕掛けを落下させる際、スプール回転にブレーキをかける機能です。メカニカルブレーキノブは、時計回りで締め、反時計回りで緩みます。クラッチOFFにして仕掛けを水中へ投入した際、糸ふけが出すぎない程度に調整してください。また、潮流の影響(二枚潮)や仕掛けを交換したときにも、同様に調整してください。また、アンダーハンドキャストで軽くキャストする際には、スプールがガタつかない範囲でメカニカルブレーキを調整してください。

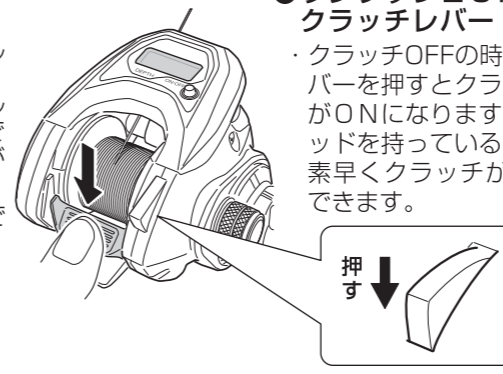
△注意

メカニカルブレーキの締めすぎ、緩めすぎにご注意ください。メカニカルブレーキノブを締め込みすぎた状態で使用すると、スプールシャフトが焼きつきを起こし、異音が発生する場合があります。また、ブレーキ力を強くしすぎると、構造上ハンドル回転に抵抗が生じます。メカニカルブレーキノブを緩めすぎた状態で使用すると、スプールのガタつきや振れが大きくなることで、スプールとフレームの隙間へラインが入り込んだり、落下スピードのダウンやノイズ発生などの恐れがあります。更にはスタートドラグとの干渉や、メカニカルブレーキノブの脱落・パーツ紛失の恐れがあります。ご注意ください。



●クラッチレバー

・親指で軽く下に押すだけで、クラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。親指でクラッチとスプールを同時に押さえることができるので、すばやく操作が行えます。
※「カチッ」と音がするまで確実に切ってください。



●ワンプッシュONクラッチレバー

・クラッチOFFの時、レバーを押すとクラッチがONになります。ロッドを持っている手で素早くクラッチがONできます。

●お手入れ方法

- 本製品は、精密部品で構成されています。下記の注意事項を守ってお取り扱いください。
- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止するため、以下の要領で、釣行後必ずメンテナンスを行なっていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により、初期性能は低下する可能性があります。
- 本リールを末長くお使い頂くためにも、年に1度は(株)スポーツライフプラネットへオーバーホールに出されることをお勧めします。(有料)

<順序>

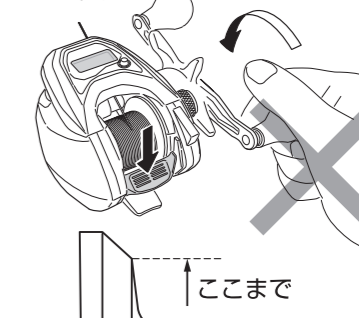
- ①使用後は、なるべく早く水洗いしてください。摺動部や回転部に残った塩分や汚れを洗い流すためです。
※特に海水域で使用したまま乾燥すると塩が結晶化してしまい、水洗いの効果が低下します。
※クラッチは、オン⇄オフを繰り返しながらよく水を掛け流してください。ハンドルやハンドルノブも回しながら水を掛け流してください。
※温水による洗浄やリールを水没させての洗浄、洗剤等での洗浄は絶対におやめください。適材適所で使い分けられているオイルやグリスを流出させてしまいます。結果的にボールベアリング、ギアなど重要回転部品の耐久性を損ないますので絶対にお止めください。
- ・本体のウォームシャフトやレベルワインド、ダイヤルが汚れている場合は、綿棒などで汚れを取り除いてください。
- ②洗浄後は、よく水を切って乾燥させてください。
・よく水を切るために、ハンドルやクラッチ、スプール等の作動部を動かしながら行うと効果的です。
- ・海水で使用された後は、スプール外周部やフレーム内部などの水分をタオルなどでふき取ってください。乾いて塩分が結晶化すると、スプールやフレームを傷つけてしまう場合があります。
- ・ドラグを緩め、水抜き穴を下にして陰干ししてください。また、直射日光を避けてなるべく通風性の良い場所で乾燥させてください。
- ※濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間(自動車のトランク、ダッシュボード等)に長時間放置されると腐食を起こす可能性があります。
- ・内部の水分が完全に乾燥するまでは5日ほどかかります。乾燥中は、出来れば1日1回程度、ハンドルやクラッチ、スプールなど作動部を動かしてください。
- ※溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。
- ③以下の注油規定に則り、必ず注油してください。
- ④保管の際は、ドラグを緩めてください。

■注油規定

△注油規定以外の注油をされるとリール本体に不具合が発生することがあります。

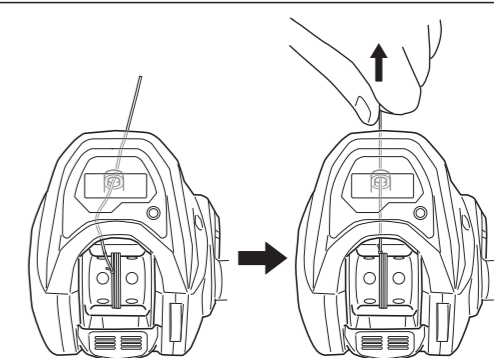
- 推奨オイル:
ダイワリールガードオイル(商品コード:04980019)
ダイワリールガードグリス(商品コード:04980020)
(釣具店にてご注文ください。)
- ※市販の防錆潤滑剤等のご使用は結果的にボールベアリングや内部機構部品等の耐久性を損なう恐れがありますので絶対におやめください。

- ①クラッチレバーを押し込んだまま、ハンドルを回さないでください。
※クラッチを押し込んだままハンドルを回すと、クラッチおよびストッパー破損につながります。
- ②オーバーヘッドでのキャストはしないでください。
※クラッチが戻り、糸が切れる恐れがあります。
- ③スプールの着脱は内部構造が複雑なためおやめください。
- ④PEライン1号以下の細糸使用時に、糸巻きの偏りやバックラッシュの発生によりスプールとフレームのすきまに糸が入り込む場合がありますのでご注意ください。
- ⑤糸巻終わり径は右図の通り最大でもスプール外周面取部下端までとすることをお奨めします。糸巻容量が多すぎると、ラインのトラブルや、道糸入力時にエラーが発生する可能性があります。
- ⑥フロントカバーやフレームに糸が当たると、傷つく場合があります。糸を巻く際は、糸がリール本体に触れないようにご注意ください。



●スプールにPEラインを巻きはじめる時の結び方

PEライン使用に際しては、糸がスプールから空転するのを防止する為、3回から5回程、糸をスプールに巻きつけた後、しっかりと結び付けてください。また、結び付けた後、強く引っ張っても糸がスプールから空転しないことを確認した後、糸巻きを開始してください。

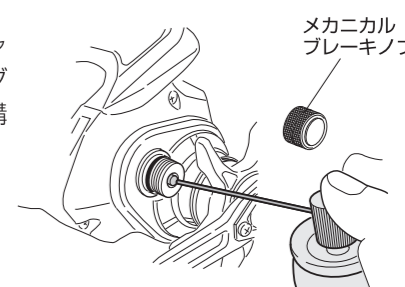


<注意点>

- ①使用後はリールの汚れ、ゴミをきれいに拭き取ってください。
- ②溶剤(シンナーなど)では手入れしないでください。
- ③ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なためおやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。
- ④IC カウンター周辺への注油はしないでください。電装部の故障につながります。

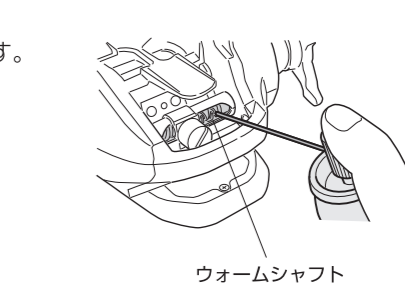
【ピニオンギア部への注油(グリス)】

・メカニカルブレーキノブを外し、中のシャフトに注油します。(極少量、スプレーグリスの場合一瞬一吹き付ける程度で結構です)
また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。



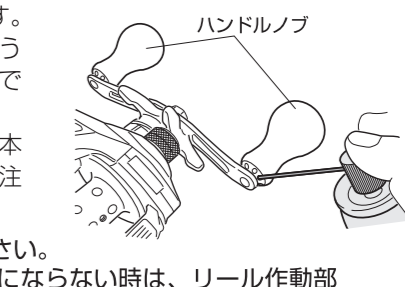
【ウォームシャフト部への注油(グリス)】

・図の様にウォームシャフト部へ注油します。
※グリスがIC カウンターへ飛散しないようご注意ください。
※長時間ご使用になり、汚れが激しい場合は、一度オイルを吹き付け汚れを浮かしてから綿棒などで拭き取り、その後、グリスを注油してください。



【ハンドルノブへの注油(グリス)】

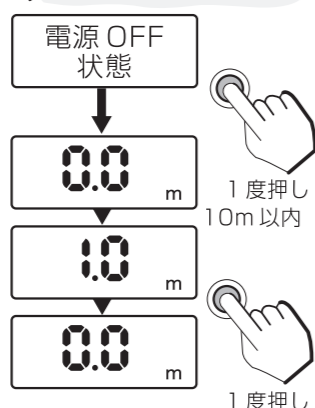
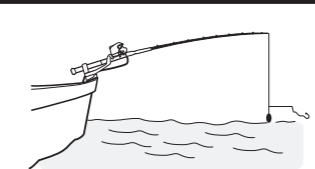
・イラストの様にハンドルノブへ注油します。以上の注油は必ずしも毎釣行ごとに行なう必要はありません。(数釣行に1度程度で十分です)
また、グリス・オイルの付けすぎは逆に本来の性能を損なう可能性があります。ご注意ください。
※水抜き穴への注油は絶対におやめください。
※リールを長時間(数ヶ月以上)お使いにならない時は、リール作動部を時々動かす事をお勧め致します。



●水面ゼロ0.0m設定

釣りを始める前に必ず行ってください。

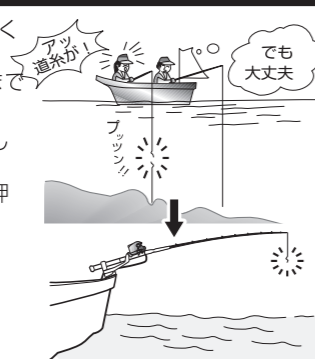
- 1 電源 ON
竿にリールを取り付け仕掛けをセットして電源を ON にしてください。



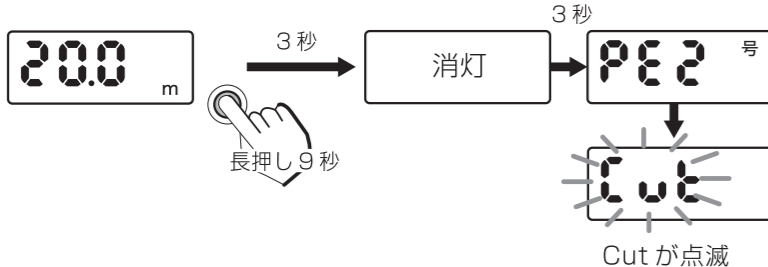
- 2 水面ゼロ設定
釣り場で仕掛けが水面にある時にスイッチを押してください。表示が 0.0m になります。
※電源が OFF になった場合には、上記の電源 ON と水面ゼロ設定を再度行ってください。それによって、表示誤差が最小となります。

●釣り場で道糸が高切れした場合

- 1 切れた道糸の先端を竿先近くまで巻いてください。
2 スイッチを 9 秒間以上表示が Cut になるまで押してください。
※ 3 秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。
3 秒で PE2 号になりますが、そのまま押ししてください。
※ PE2 号は初期設定です。
3 表示された CUT が 5 回点滅して表示が 0.0m になれば修正完了です。



※糸切れした場合のデータ修正以外はカウンター誤差の原因になりますので、10m 以上の長押しはしないでください。



●故障かなと...考える前に

症状	処置	備考
カウンター表示がつかない。	①リセットスイッチ(電源 ON・OFF)を押してください。 ②室温にしておもう一度たしかめてください。 ③電池交換が必要です。	-10℃以下、60℃以上の場合、液晶表示が見えにくくなる場合があります。 作業が複雑なため、販売店に依頼してください。
カウンター表示が消えない。	リセットスイッチ(電源 ON・OFF)を 5 秒以上表示が消えるまで押してください。	表示が消えたらスイッチから手を離してください。押し続けると変更モードになります。
カウンター表示が勝手に消えた。	リセットスイッチを押してください。但し、初期状態になります。押しでも表示しない場合は、新しい電池と交換してください。	このリールには自動節電機能がついております。(約 30 分)
カウンター表示がうすくなった。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	作業が複雑なため、販売店に依頼してください。
アラーム音が小さい。	電池寿命が近づいています。新しい電池と交換してください。	作業が複雑なため、販売店に依頼してください。
誤差が大きい。	お手数ですが再び入力をやり直してください。 糸の種類によって、糸ののび・ちぢみが多かったり、色分けにスレがある場合もあります。そのために、カウンター表示とのスレが出る場合があります。	

※上記の点検が行われても、正常にならなかったり、おかしいと思われるときには、お買い求めの販売店、またはお客様センターにおたずねください。他の故障が生じた場合や部品ご注文の際にも同様をお願いいたします。

●カウンター電源 ON・OFF

液晶表示が点灯している時は、電源 ON の状態です。ON にする ----- スイッチを押してください。OFF にする ----- スイッチを 3 秒以上、表示が消えるまで押し続けてください。

自動節電機能について
電源 ON 時、約 30 分間以上不使用的の状態が続くと省エネのため、自動的に電源 OFF となる節電機能がついております。
※電源を OFF にしても道糸のデータはメモリーされています。

●船べりアラーム

巻上げ中、水深 8m より 2m 間隔で「ビッ」とアラームが鳴り、仕掛けが船べりに近づいていることをお知らせします。

●道糸残量アラーム

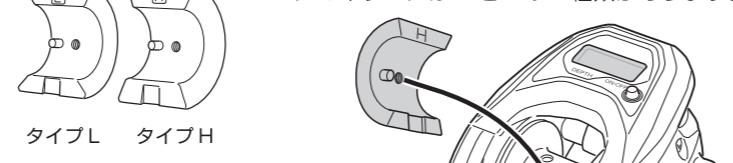
道糸の残量 10m より 1m 間隔でアラームが鳴り、道糸がなくなることをお知らせします。

●内蔵電池交換について

本機種の電池交換は作業が複雑です。防水性能を維持するためにお買い求めの販売店に依頼してください。

●エコマイザー使用方法

エコマイザーには H と L の 2 種類があります。



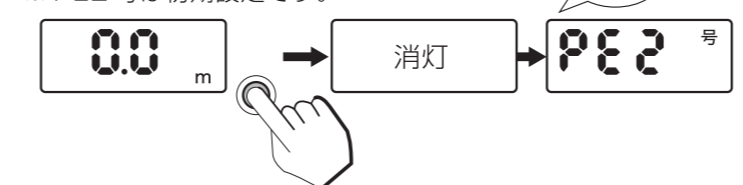
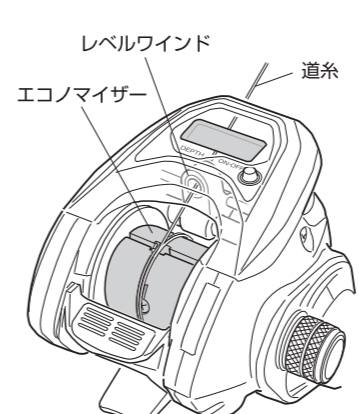
- 1 クラッチを OFF にしてスプール中央にあるネジの穴と、エコマイザーの穴の位置を合わせ、エコマイザーをスプールに装着します。
※エコマイザーのネジ穴の横にある凸と、スプールの穴が、かん合しますので、その後ドライバーでネジをきっちり締めてください。

- 2 同様に、もう 1 つのエコマイザーをスプールに装着してください。
※ H は H 同士、L は L 同士のエコマイザーを装着してください。
※エコマイザーは凹の向きが合うように取り付けてください。
この溝はネジを外してもエコマイザーが取れない場合に工具を入れる時にご使用ください。

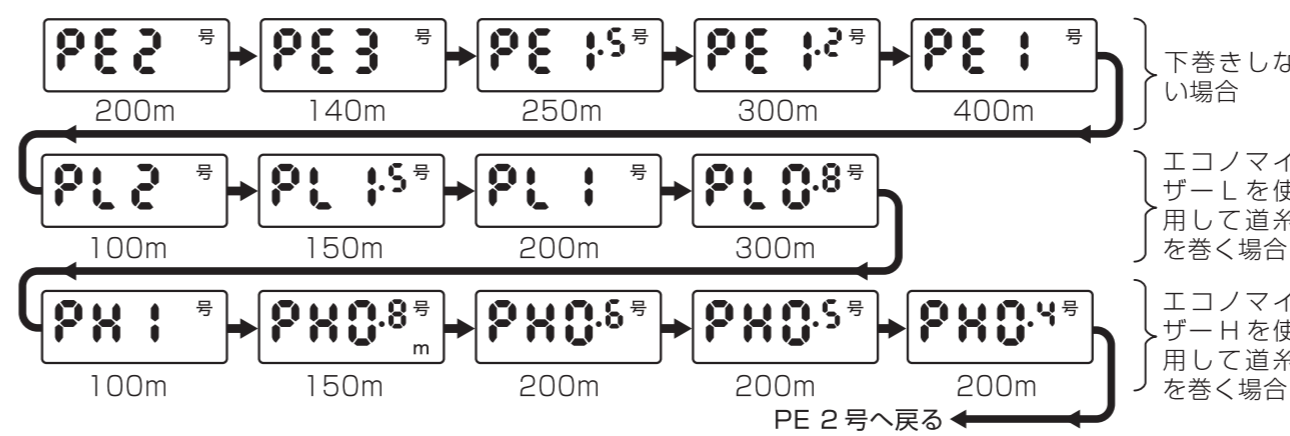
●道糸入力の方法 ※エコマイザーを使用する場合

※下表にある太さの PE を 10m から入力できます。

- 1 エコマイザーを装着してください。
2 道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。
※糸滑り防止のため必ずしっかりと糸を結んでください。
3 スイッチを押してカウンターを表示させてください。
4 表示が 0.0m の時に、スイッチを 6 秒間長押ししてください。表示が PE2 号になります。
※ 3 秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。6 秒で PE2 号になります。
※ PE2 号は初期設定です。



- 5 設定したい道糸の太さになるまで、スイッチを押してください。



エコマイザーを使用しない場合	PE2号-200m	PE3号-140m	PE1.5号-250m	PE1.2号-300m	PE1号-400m
エコマイザーLを使用する場合	PE2号-100m	PE1.5号-150m	PE1号-200m	PE0.8号-300m	
エコマイザーHを使用する場合	PE1号-100m	PE0.8号-150m	PE0.6号-200m	PE0.5号-200m	PE0.4号-200m

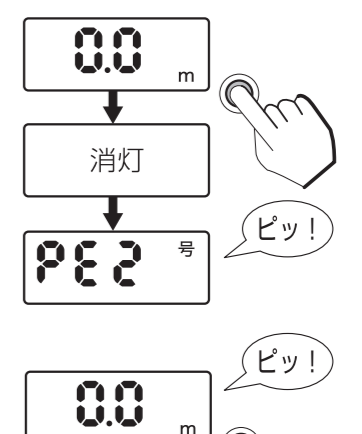
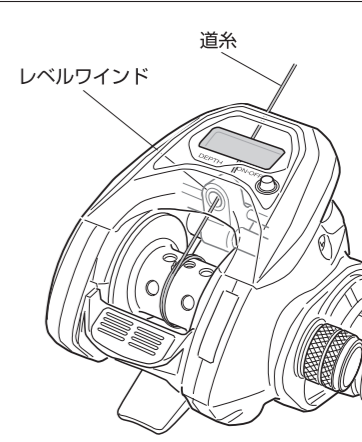
※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。

●道糸入力の方法 ※エコマイザーを使用しない左表の太さ-長さの場合

※リールにはあらかじめ PE2 号-200m のデータが入力されています。

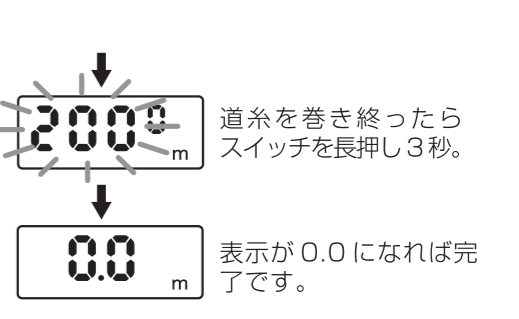
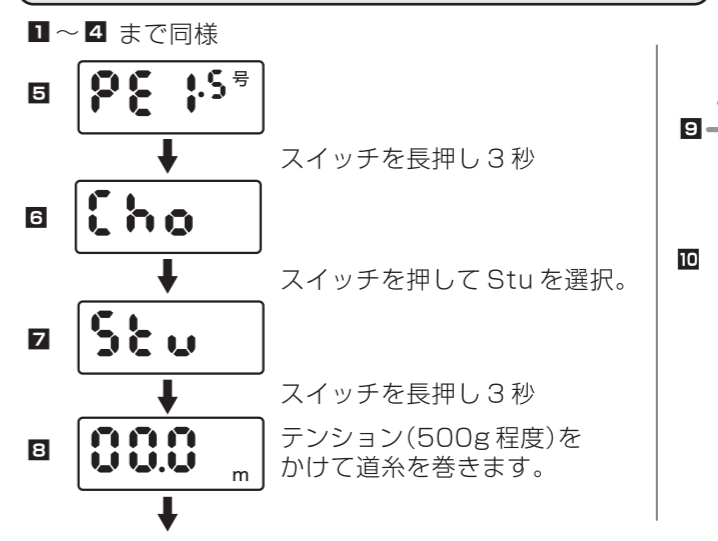
- 注意
・糸のデータ入力には必ず行ってください。また、修理やデータ再入力をご希望の場合は糸の号数と長さを教えてください。
・道糸は 10m 以上あれば入力することができます。

- 1 道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。
※糸滑り防止のため必ずしっかりと糸を結んでください。
2 スイッチを押してカウンターを表示させてください。
※ PE2 号は初期設定です。
3 表示が 0.0m の時に、スイッチを 6 秒間長押ししてください。表示が PE2 号になります。
※ 3 秒で表示が消えますが、そのまま押し続けてください。6 秒で PE2 号になります。
4 設定したい道糸の太さになるまで、スイッチを押してください。
※左記 5 と同じ
5 設定したい道糸の太さが表示されたら、スイッチを Cho になるまで長押ししてください。
※ Cho と Stu は一度押すごとに切り変わります。
※左記 6 と同じ
6 スイッチを押してください。(アラームが鳴り、表示が 0.0m になれば完了です。)

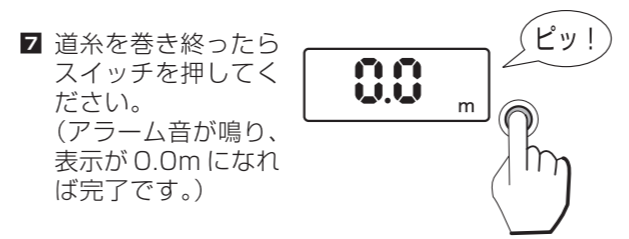
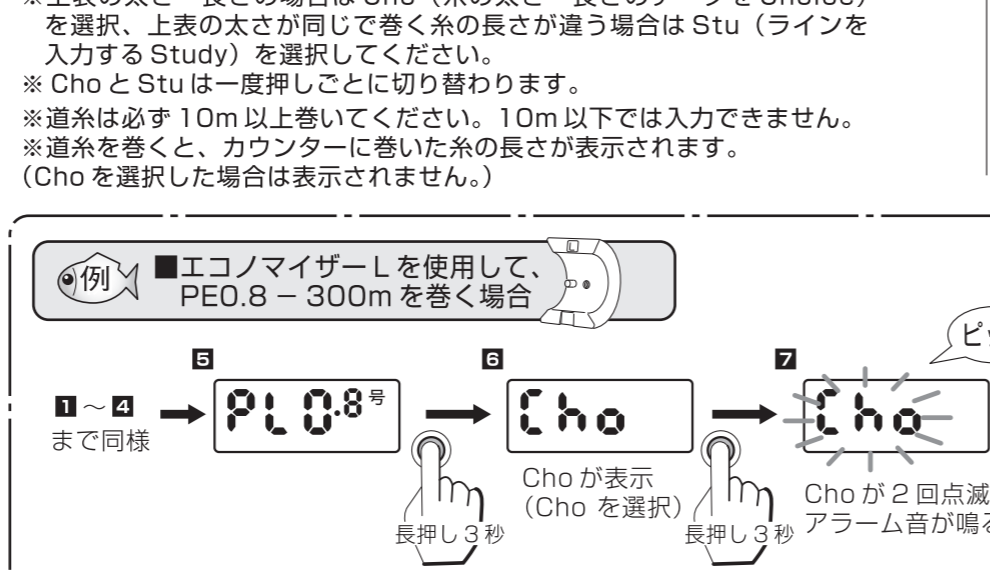


実際に釣りをする時と同じくらいのテンション (500g 程度) をかけて道糸を巻きまます。
※道糸を先に巻いた後でも設定可能です。

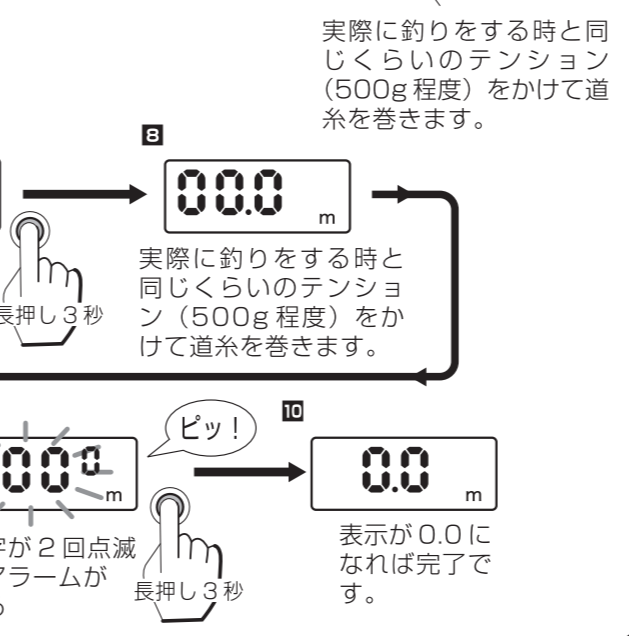
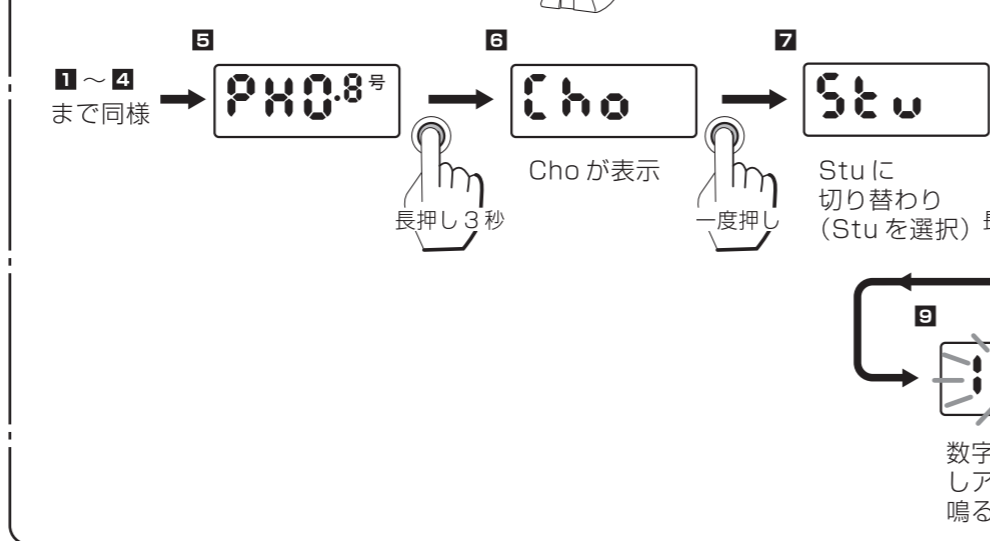
例 ■エコマイザーを使用しないで、1.5号-200m を入力する場合



例 ■エコマイザーLを使用して、PE0.8-300m を巻く場合



例 ■エコマイザーHを使用して、PE0.8-100m を巻く場合



例 ■エコマイザーLを使用して、0.8号-200m を入力する場合

